

天使病院

所属メンバー

- ・飯塚 進 (小児診療部部長、昭和 51 年卒)
- ・外木 秀文 (小児科科長、昭和 57 年卒)
- ・高橋 伸浩 (NICU 科科長、昭和 62 年卒)
- ・奥原 宏治 (医師、平成 4 年卒)
- ・宮 卓也 (後期研修医、平成 17 年卒、独自採用)
- ・小籬 菜穂 (後期研修医、平成 17 年卒、独自採用)
- ・砂田 哲 (後期研修医、平成 17 年卒、独自採用)

卒後臨床研修医

9 名 (うち 1 年目 5 名、2 年目 4 名)

専門外来

- ・心臓外来 (×1.5/週)
- ・神経外来 (×2/月)
- ・遺伝外来 (×1/週)
- ・新生児未熟児発達外来 (×2/週)
- ・内分泌・糖尿病外来 (×1/週)
- ・血液・腫瘍外来 (×1/週)
- ・アレルギー外来 (×1/週)

天使病院

病院全体の医師数	47人
小児科医師数	7人 (うち非常勤 0人)

病院全体の病床数	260床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	32床
NICU病床数	12床
新生児病床数(NICUを除く)	14床

NICU としての認定 あり

平均小児科外来数	71.9人/日
平均時間外外来数	2.9人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	1,140人/年 (+ NICU 189人)
年間のべ入院患者数	7,343人/年 (+ NICU 8,314人) (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	608人/年 (小児病棟 281人)

年間分娩数	507人/年
年間低出生体重児(2,500g未満)数	70人/年
極低出生体重児(1,500g未満)数	30人/年
年間呼吸管理患者数	36人/年

論文・著書など

1. Sato D, Kawara H, Shimokawa O, Harada N, Tonoki H, Takahashi N, Imai Y, Kimura H, Matsumoto N, Ariga T, Niikawa N and Yoshiura K: A Down syndrome girl with partial trisomy for 21 pter-q22.13: A clue to narrow the Down syndrome critical region. *Am J Med Genet A* 146: 124-127, 2008
2. Kuniba H, Tsuda M, Nakashima M, Miura S, Miyake N, Kondoh T, Matsumoto T, Moriuchi H, Ohashi H, Kurosawa K, Tonoki H, Nagai T, Okamoto N, Kato M, Fukushima Y, Naritomi K, Matsumoto N, Kinoshita A, Yoshiura KI and Niikawa N: Lack of C20orf133 and FLRT3 mutations in 43 patients with Kabuki syndrome in Japan. *J Med Genet* 45: 479-480, 2009
3. Kuniba H, Yoshiura KI, Kondoh T, Ohashi H, Kurosawa K, Tonoki H, Nagai T, Okamoto N, Kato M, Fukushima Y, Kaname T, Naritomi K, Matsumoto T, Moriuchi H, Kishino T, Kinoshita A, Miyake N, Matsumoto N and Niikawa N: Molecular karyotyping in 17 patients and mutation screening in 41 patients with Kabuki syndrome. *J Hum Genet*, Apr 3 [Epub ahead of Print]
4. 太田 優、阿部敦子、杉町安紀、成田 慶、田上泰子、花井潤師、福士 勝、矢野公一、藤田晃三、金田 眞、西 基、長 祐子、飯塚 進: 札幌市における1歳6ヵ月児の神経芽細胞腫スクリーニング結果. 札幌市衛生研究所年報 35号: 57-59, 2008
5. 花井潤師、太田 優、田上泰子、阿部敦子、杉町安紀、福士 勝、矢野公一、西 基、飯塚 進、内藤春彦: 札幌市における1歳2ヵ月児の神経芽細胞腫スクリーニング結果. 札幌市衛生研究所年報 35号: 53-56, 2008
6. 花井潤師、田上泰子、阿部敦子、太田 優、福士 勝、矢野公一、藤田晃三、西 基、長 祐子、飯塚 進、内藤春彦: 「神経芽腫マススクリーニングの今後」18ヵ月マススクリーニングの現状(札幌市). *小児外科* 40(9): 1069-1073, 2008

学会発表

全国学会

なし

地方学会

1. 板東優篤、斉藤勝也、南野 雅、吉田圭介、白髭克彦、伊藤武彦、広田 亨、石川雄一、外木秀文、近藤達郎：コヒーシン関連因子遺伝病におけるコヒーシンによる遺伝子発現制御の解析. 第 31 回日本分子生物学会年会・第 81 回日本生化学会大会 合同大会、神戸市、2008/11/9-12
2. 宮 卓也、高山 達、砂田 哲、小籟菜穂、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、寺本 忍、石黒信久、菊田英明：ヒトメタニューモウイルス感染症による呼吸不全. 第 7 回札幌北区東区小児医療研究会、札幌市、2008/7/5
3. 小籟菜穂、宮 卓也、砂田 哲、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、有岡秀樹、汲田喜宏：尿路感染症を契機に発見された馬蹄腎の 2 例. 第 7 回札幌北区東区小児医療研究会、札幌市、2008/7/5
4. 宮 卓也、高山 達、砂田 哲、小籟菜穂、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、寺本 忍、石黒信久、菊田英明：hMPV 感染により呼吸不全をきたした 5 ヶ月児の 1 例. 第 272 回日本小児科学会北海道地方会、旭川市、2008/7/6
5. 宮 卓也、小籟菜穂、砂田 哲、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、川口 哲、渡利道子、相澤貴之、計良光昭、吉田 博、湊 雅嗣、山本浩史：胎児期に発見された食道裂孔ヘルニアを伴った Ehlers-Danlos 症候群の 1 例. 第 11 回北海道出生前診断研究会、札幌市、2008/11/8
6. 野呂 歩、田原泰夫、戸澤雄介、早坂 格、釜場友佳代、佐藤泰征、藤原伸一、鈴木靖人、仲西正憲、永島哲郎、東 正樹、山口辰美、山村満恵、外木秀文、新川詔夫：胎内診断し得た先天性四肢欠損症の 1 例. 第 11 回北海道出生前診断研究会、札幌市、2008/11/8
7. 長 祐子、市川瑞穂、鈴木大介、金田 眞、有賀 正、畑江芳郎、飯塚 進：Hb Nottingham の母子例. 第 25 回北海道小児血液研究会、札幌市、2008/11/8
8. 砂田 哲、宮 卓也、小籟菜穂、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、高宮 脩：1 ヶ月検診時のヘパプラスチンテストを契機として発見された先天性第 VII 因子欠乏症の 1 例. 第 273 回日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2008/11/30
9. 青柳みのり、奥原宏治、小籟菜穂、砂田 哲、宮 卓也、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、湊 雅嗣、山本浩史：回盲部が骨盤腔内左側に位置していたため診断に苦慮した急性虫垂炎の 1 例. 第 273 回日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2008/11/30
10. 高山 達、奥原宏治、飯塚 進、湊 雅嗣、山本浩史、佐藤智信、安田一恵、小林良二：腫瘍破裂で発見された縦隔奇形腫の 1 例. 第 34 回北海道小児がん研究会、札幌市、2009/3/6
11. 齋藤良玄、青柳みのり、外木秀文、飯塚 進、高橋伸浩、奥原宏治、小籟菜穂、砂田 哲、宮 卓也：集団食中毒の経験. 第 8 回札幌北区東区小児医療研究会、札幌市、2009/2/14

12. 砂田 哲、宮 卓也、小籟菜穂、高山 達、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進：
頸部腫瘍で見つかった咽後膿瘍の4例. 第8回札幌北区東区小児医療研究会、札幌市、
2009/2/14
13. 奥原宏治、小籟菜穂、砂田 哲、宮 卓也、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、及川敬太、
藤田 香：当院小児科における急性中耳炎入院症例のまとめ 2007.1~2008.12. 第8
回札幌北区東区小児医療研究会、札幌市、2009/2/14
14. 太田 光、市川瑞穂、鈴木大介、長 祐子、金田 眞、飯塚 進、有賀 正：難治性
Anaplastic large cell lymphoma の1例. 第19回北海道小児血液セミナー、札幌市、
2009/2/20
15. 佐藤智信、安田一恵、小林良二、小林邦彦、宮 卓也、砂田 哲、小籟菜穂、奥原宏治、
高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、山本浩史、高橋義男、佐々木理、杉山未奈子、高梨久
仁子、植竹公明、松本憲則：初発時に中枢神経転移による水頭症を呈した Malignant
rhabdoid tumor of kidney の乳児例. 第34回北海道小児がん研究会、札幌市、2009/3/6

講演

1. 飯塚 進：新米ママの育児講座. 札幌市、2008/4/16
2. 飯塚 進：治療が終わってからの生活. がんのこどもを守る会家族交流講演会、札幌市、
2008/9/20
3. 飯塚 進：血友病治療における対応点. 第43回道友会医療講演、千歳市、2008/10/18
4. 飯塚 進：子供の安全と病気. 保育サポーター養成講座、札幌市、2008/11/26
5. 外木秀文：神経線維腫症I型（フォン・レックリングハウゼン病）の遺伝学—ここまで
わかる—. 第3回札幌市難病医療相談会、札幌市、2008/11/30
6. 外木秀文：ダウン症の方々へのアンケートの結果：北海道小鳩会の方々の協力を得て.
医療講演会、札幌市、2009/3/14

その他社会貢献など

なし